	事業 -ド	7641	事 務 事業名		環境整備事業(牧園	高千穂地区	.)		担担			物園総合3 建設課	芝所
 政領	·	1	快適で魅力		(1)				_	 ` ル -		建設グル-	- プ
施領		1	生活基盤の)充実					電	話音		76-1111	
基本事	事業名	5	景観の保全	≧と整備					内	線音	番号	5522	
	会計	一般	2会計			事業	8 年度	F	平成	25	5 年度		
予	款	8	土木費			期間	平成	0 +1S	2	+ 11X	, 20) 十皮	
算 科	項	5	都市計画費	ť		担加法人							
目	目	1	都市計画総	終費		根拠法令· 条例等	霧島市牧園	園町まちづく	り要綱				
	コード 764117 関連計画 高千穂地区街なみ環境整備事業整備方針、高千穂地区												
					整備方針、高千穂地区	街なみ環境整	整備事業 事	業計画					
1 . 現	状把握	(1)	事務事業の	目的 < D	0 >								
Į	事業開炉	冶の理	由及び事業の	の概要		事業に対す	る意見・要 意見か明語			業に 見	付する	る議会から	」され
鹿児』	島県の「	霧鳥国	際芸術の森」基	基本構想に基	づく、高千穂地区事				特にな				
の国道	223号)	道路拡幅	福改良事業の	着手をきっかり	すに、歴史的建造 催。	地元からの	要望は、整個	備後の維持		- 3			
			用、公共施設⊄ いした魅力ある往		の修景整備等を行 管理	理について地: されている。	元負担の軽	咸を強く要					
, , >		LCIDN	010)81730707	-1.8./ IE/III C	117.	_40 (1 00							
対	象	(誰、何	「を対象にしてい	いるのか)	意 図 (対象	をどうしたいの	カッ)	結り	果	(どん	な結り	果に結びつけ	るのか
ア牧園	町高千	徳地区			良好な街なみが形成	な街なみが形成される 歴			と 的な景観や自然景観が守られる				
1								地域にあ	った畳	観が倉	られ	る	
	4								– /4 .				
		と体計画 8~		平成20年	<u>-</u> 年度までの・実施状況		平成21年 宝绩	度			म्	^Z 成22年度 計画	
	(H 也区ポケ	8 ~ ツトパー		事業計画の	策定	ポケットパ	実績 ーク整備	度		ケットノ		計画	
所 約1	(H 也区ポケ 1, 100r	<mark>8 ~</mark> ツトパー n [‡]	H 25) -ク整備 2ヶ	事業計画の 事業計画の	策定 見直し	ポケットパ 街路灯整	実績 ーク整備	度	ポ屋	外消火	ペーク く栓	計画	
所 約1 ·屋外消	(H 也区ポケ 1, 100r 肖火栓設	<mark>8 ~</mark> つットパー n ² と置 4f	H 25) -ク整備 2ヶ	事業計画の	策定 見直し -ク整備		実績 ーク整備	度	ポ屋		ペーク く栓	計画	
所 約1 ・屋外消 ・通路 ・街路灯	(H 也区ポケ 1,100r 肖火栓該 整備 丸 丁整備	8 ~ ツトパー ポ と置 4f 尾地区 166基	H 25) ク整備 2 _ケ	事業計画の 事業計画の ポケットパー	策定 見直し -ク整備		実績 ーク整備	度	ポ屋	外消火	ペーク く栓	計画	
所 約1 ・屋外2 ・通路型 ・道路 ・道路	(H 也区ポケ 1,100r 肖火栓該 整備 丸 丁整備	8 ~ ファトパー ポ 設置 4億 尾地区 166基 市道25	H 25) -ク整備 2ヶ 箇所 約100m 路線約1,080m	事業計画の 事業計画の ポケットパー	策定 見直し -ク整備		実績 ーク整備	度	ポ屋	外消火	ペーク く栓	計画	
所を通ばない。 外外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外の外	(H (プケ (ポケ (ポケ (1,100r ド (1,100r (1,100	8 ~ ットパー が と置 4f 尾地区 166基 市道25 3箇所	H 25) -ク整備 2ヶ 箇所 約100m 路線約1,080m	事業計画の 事業計画の ポケットパー	策定 見直し -ク整備		実績 ーク整備	度	ポ屋	外消火	ペーク く栓	計画	
所を通ばない。 対外の関係を対しては、 は、 は	(H / T / T / T / T / T / T / T / T / T /	8 ~ ットパー が と置 4f 尾地区 166基 市道25 3箇所	H 25) -ク整備 2ヶ 箇所 約100m 路線約1,080m	事業計画の 事業計画の ポケットパー	策定 見直し -ク整備		実績 ーク整備	度	ポ屋	外消火	ペーク く栓	計画	
所を通ばない。 対外の関係を対しては、 は、 は	(H プロ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8 ~ ジトパー ㎡ 設置 4f 尾地区 166基 市道25 3箇所 30戸	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の 事業計画の ポケットパー	策定 見直し - ク整備 置		実績 一夕整備 備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	<u>計画</u> 整備	
所を通ばない。 対外の関係を対しては、 は、 は	(H プロ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8 ~ ットパー ポー 設置 4f 尾地区 166基基 市道部所 30戸 成23年	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の 事業計画の ポケットパー	策定 見直し - ク整備 置 平成24年度		実績 一夕整備 備 平成25年		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所を通ばない。 対外の関係を対しては、 は、 は	(H 也区ポケ 1,100r 1,100r 1,火備 整装 1,火 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8 ~ ジトパー ㎡ 設置 4f 尾地区 166基 市道25 3箇所 30戸	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設	策定 見直し - ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整	実績 一夕整備 備 平成25年 計画		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	<u>計画</u> 整備	
所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 街道 約 外路 東 外路 東 海路 路路 り 大美	(H / インター	8 ~ ツトパー nf ツトパー nf と 4 ft 足 166 基 15 当	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備路灯整備道路美装化	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路灯整 道路美装	実績 一夕整備 備 平成25年 計画 備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所 屋通路路道 で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(H / プロス 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	8 ~ ツトパーパー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備を対象を開道のできません。	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路灯整 道路置き場	実績 一ク整備 備 平成25年 計画 備 化整備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所 屋通路路道 で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(H / インター	8 ~ ツトパーパー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備路灯整備道路美装化	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路灯整 道路置き場	実績 一夕整備 備 平成25年 計画 備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(H / プロス 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	8 ~ ツトパーパー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備路大変備道路美装化ゴミ管修りを開発を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始している。	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路外美装場 で記事等	実績 一ク整備 備 平成25年 計画 備 化整備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(H / プロス 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	8 ~ ツトパーパー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備路大変備道路美装化ゴミ管修りを開発を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始している。	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路外美装場 で記事等	実績 一ク整備 備 平成25年 計画 備 化整備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(H / プロス 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	8 ~ ツトパーパー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備路大変備道路美装化ゴミ管修りを開発を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始している。	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路外美装場 で記事等	実績 一ク整備 備 平成25年 計画 備 化整備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	
所屋通街道ご足住 新外路路路み湯宅 大美さ等 大美さ等	(H / プロス 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	8 ~ ツトパーパー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	H 25) -ク整備 2ヶ 適所 約100m 路線約1,080m	事業計画の事業計画のポケットパー街路灯の設備路大変備道路美装化ゴミ管修りを開発を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始している。	策定 見直し ク整備 置 平成24年度 計画	街路灯整 街路外美装場 で記事等	実績 一ク整備 備 平成25年 計画 備 化整備		ポ屋	外消火	ペーク く栓 情	計画 整備 乾26年度以降	

単位:千円

全体計画 H 8 ~ H 25) 単独 補助 合計 玉 215,348 215,348 県 債 地 方 辺 地 債 過 疎 債 合併特例債 そ の 他 源 般 財 294,560 294,560 計 294,560 509,908 215,348

			単 [·]	位:千円
	H 21年度	H 22年度	前年度	比較
_	決算 (A)	計画 (B)	(B) - ((A)
当初予算額	5,050	20,645	15,595	309% 増
補正予算額	62,815			
予 算 合 計	67,865	20,645	▲ 47,220	70% 減
国庫補助金	22,535	8,640	▲ 13,895	62% 減
県 支 出 金				
地 方 債				
そ の 他				
一般財源	42,961	12,005	▲ 30,956	72% 減
支 出 合 計	65,496	20,645	▲ 44,851	68% 減
				ı

事務事業 76	4117 事務 事業名 街なみ環境整備事業(外	女園·高千穂地区)	担当部 牧園総合支所 担当課 建設課			
2 評価の部 <	SEE >	評価	評価理由			
A 目的妥当性	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事業を推進することにより、良好な街なみが形成され、地域にあった景観を保全できる。			
評価	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	地域住民と観光客の安全性や、地域の景観の確保等に繋がるため、公共の関与が妥当である。			
	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	■ 順調に進捗している	整備計画に基づき順調に進んでいる。			
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	良好な景観形成や地域の安全性確保に支障がある。			
C +4 +5 -4 -5 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7 -7	事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	仕様・工法等の見直しを随時行っており削減の余 地はない。			
C 効率性評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	地域住民や関係者との協議等の主要な事業は正 規職員が行う必要があり嘱託職員や委託はできな いため、人件費の削減はできない。			
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	整備区域を設定し、住環境の整備を主に行う事であることから受益者へ負担を求めることはできないが、整備後の施設維持管理は地域にお願いしいる。			
(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反	省点)			

n z	≒☆₩₩≐ѿ/≖	CV 377 :			
B 有	う 効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合 のような影響があるか?	合にど	■ 影響がある □ 影響がない	良好な景観形成や地域の安全性確保に支障があ る。
C *	九亥州流	事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合のような影響があるか?		■ 削減余地がない □ 削減余地がある	仕様・工法等の見直しを随時行っており削減の余 地はない。
C 効率性評価		人件費(延べ業務時間)の削減 ・やり方を工夫して事務事業に係る 時間を削減できないか?		■ 削減余地がない □ 削減余地がある	地域住民や関係者との協議等の主要な事業は正 規職員が行う必要があり嘱託職員や委託はできな いため、人件費の削減はできない。
D 2	公平性評価	受益機会・費用負担の適正化会・事業の内容が一部の受益者に偏いて不公平ではないか?		■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	整備区域を設定し、住環境の整備を主に行う事業であることから受益者へ負担を求めることはできないが、整備後の施設維持管理は地域にお願いしている。
	(1)1次評(価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反	省点)
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	性 ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある	3 見 3	l直し後の事業計画に基づき、地 っているところである。	也元説明会を開催し地元要望を取り入れた整備を進
2 🕸	後の方向性	< DI AN >			
		とづく今後の方向性	((2) 具体的な改善計画 (又)	は廃止・休止すべきとした場合の理由)
	廃止	[目的妥当性①②、有効性④の結果	ŧ]	. ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	*
	休止	[目的妥当性①②、有効性④の結果	ŧ]		
	有効性改善	[有効性③④の結果	- 1		
_	効率性改善(- 1		
	公平性改善	[公平性⑦の結果	[]		
	現状維持 継	続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要			

評価	対象年	隻 平	成 21年度	事務事	工業評価	表 < 邡	6設整	構·設備	整備	·道	路整	備用:	>		梫	
事	務事業	764	-119 事 務		道橋補修等						担	当		牧園総合	支 所	í
	コード	704	事業名	—————————————————————————————————————	但何附以过:	尹未 — <u>——</u>					担	当	課	建設課		
政	(策名	1	快適で魅力	あるまちづくり							グ	ルー	プ	建設グル	ノープ	
施	策名	1	生活基盤の	充実							電	話番	号	76-1111		
基本	事業名	5	景観の保全	と整備							内	線 番	号	5522		
	会計	— ў	般会計			Į	事業	ᇴ	10	ケー	-	₩ ct:	22	左庇		
予		8	土木費				期間	平成	18	千ら	₹ ~	平成	23	年度		
算科	項	5	都市計画費													
目目		1	都市計画総	务費			根拠法令・ 条例等									
	コード	764	4119			亦	沙哥									
関注	連計画							<u>.</u>								-
1.玛	見状把握	(1)事務事業の目	的 < Do >												
	事業開	始の理	里由及び事業の	概要				3意見·要 意見か明			事意		する	議会から	出さ	れた
			也区の避難路と妙					早急な橋袖						で、「橋の		
			が建設されたが、 の増殖やシロアリ			側避難退	直路(取付	道路)の第	と室かみ	かる。				が進んでレ 引があった。		厄陝
避難	路の確保	のため	補修を必要とした	とことから、一部月	末板等の取替							, .	2011	,,, ,, ,, ,,		
			平成19年度は、周													
			方法や環境対策↓ 避難道路(取付道													

 対象 (誰、何を対象にしているのか)
 意図 (対象をどうしたいのか)
 結果 (どんな結果に結びつけるのか)

 ア 地域住民及び観光客
 安心で快適に利用してもらう
 歴史的な景観や自然景観が守られる

 1
 地域にあった景観が創られる

全体計画 (H 18 ~ H 23)	平成20年度までの・実施状況	平成21年度 実績	平成22年度 計画
人道橋維持補修一式	・護岸部床板貼り替え 26枚 ・シロアリ駆除 一式 ・河川湯源調査業務委託 一式 ・河川湯源河床部撮影業務委託 一式 ・両護岸床板貼り替え工事 157枚	 ・人道橋分筆測量設計 一式 ・河川湯源復旧工事実施設計 一式 ・河川湯源復旧工事 一式 (H22へ繰越予算額)7,000千円 (上記の内契約済額)4,950千円 ・人道橋改修設計委託 一式 (H22へ繰越予算額)5,181千円 (上記の内契約済額)4,725千円 	・犬飼滝線地質調査試験費・犬飼滝線用地取得 6筆・犬飼滝線用地補償 立木補償一式・人道橋床板補修
平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度以降 計画
・人道橋改修 一式 ※事業費については、県の地域振 興推進事業の認可状況によりH22.8 月頃決定。			

(2)事業費 単位:千円

	全体計画										
(H 18 ~	H 23)									
	単独	補助	合計								
国											
県											
地 方 債											
辺 地 債											
過 疎 債											
合併特例債											
その他											
一般財源	34,987		34,987								
計	34,987		34,987								

			単作	位:千円
	H 21年度	H 22年度	前年度	比較
	決算 (A)	計画 (B)	(B)-((A)
当初予算額	24,200	7,300	▲ 16,900	70% 減
補正予算額	-10,189			
予 算 合 計	14,011	7,300	▲ 6,711	48% 減
国庫補助金				
県 支 出 金				
地 方 債				
その他				
一般財源	11,505	7,300	▲ 4,205	37% 減
支 出 合 計	11,505	7,300	▲ 4,205	37% 減

事務事業	704440	事務	妙見防災人道橋補修等事業	担	当部	牧園総合支所
コード	764119	事業名	妙見防災人追橋補修寺事業	担	当 課	建設課

2	評価の部 < S	SEE >	評価	評価理由				
		政策体系との整合性	■ 結びついている	橋梁を維持補修等することで、地域住民や宿泊客				
Α	目的妥当性	・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びづれている	等に安心で快適に利用してもらい、地域にあった景観を保全できる。				
	評価	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければなら	 ■ 妥当である	本橋梁は、景観に配慮した橋であるほか、災害時				
		ないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	■ ダゴ (<i>G</i>) を	の緊急避難経路の橋でもある。このような理由から 市が関与することは妥当である。				
		・祝金を投入して、達成りる日的が?						
В	有効性評価	・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	■ 順調に進捗している □ 遅れている	河川湯源の復旧等計画通り進行している。				
D	有劝注計劃	廃止・休止の成果への影響		廃止・休止した場合、橋梁を維持保全出来なくな				
		・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	り、劣化・落橋が予想され、地域住民や観光客に 多大な影響がある。				
		事業費の削減余地	W07-4 V 10 10-4-1 1					
_	効率性評価	・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	既存の工作物を可能な限り利用する計画であり、 削減の余地はない。				
_	劝举注計1個	人件費(延べ業務時間)の削減余地	W07-4 V 10 10-4-1 1	支地位护 >→ 10 16 14 14 1 2 15 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16				
		・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業実施にあたり、地域住民や関係者との協議等 が必要であり、正規職員が行う必要がある。				
		受益機会・費用負担の適正化余地		本橋梁は、景観に配慮した地域住民の生活路であり、災害時の緊急避難経路の役割も兼ねていること				
D	公平性評価	・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	り、灰香時の祭忌避難経路の役割も兼ねていること から、公共性が高く受益者に負担を強いることは不 適切である。				
	(1)1次評(両者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反行	省点)				
総	A 目的妥当	性 ■ 適切 □ 見直す必要がある						
	B 有効性	■ 適切 □ 見直す必要がある		、橋の劣化が著しく歩行者の安全確保が急務となっ				
括		■ 適切 □ 見直す必要がある	ていることから早急な改修を必要。	としている。				
	D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある						
3 -	今後の方向性	<plan></plan>						
(1)評価結果にも	らとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又)	は廃止・休止すべきとした場合の理由)				
_	□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性④の結果]						
	□休止 □右効性改善	[目的妥当性①②、有効性④の結果] 「有効性③④の結果]						
_	□ 有効性改善 □ 効率性改善(=						
	」が平位改善(□ 公平性改善	[公平性⑦の結果]						
L	現状維持·継	続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要						

W 1 1 1 1 1 1 1 1					3- 0/3	3- 2K HI	<u> </u>	, 1/10 HYTE		<u> 프 m</u>		#	1187 IJ '			ハン
事務		764	212	事 務 事業名	(仮称)ま	きのはら総	合運動	公園整備事業	¥			担担	当当		建設部 都市整備調	Ę
政策	名	1 快適で魅力あるまちづくり								グ	ルー	プ	公園グルー	・プ		
施策	名	1 生活基盤の充実								電	話番	号	45-5111			
基本事	業名	7 公園・広場等の整備								内	線番	号	2891、2892			
	会計	— ў	般会計	ŀ				事業	平成	18	年度	~	平成	22	年度	
予	款	8	土	木費				期間	T11X	10	十反		⊤ 11X	22	十尺	
予 算 科	項	5	都直	市計画費				H-HI '- 스								
目	目	3	街路事業費				根拠法令· 条例等	都市計画	i法、i	首路法、	都市	方公園:	法			
	コード	764	1212					7,17								
関連語	十画							_	-							

1.現状把握 (1)事務事業の目的 < Do >

事業開始の理由及び事業の概要

平成15年、牧之原総合運動公園整備の要望が強く、開始する きっかけとなり、まちづくり交付金事業による整備の計画が開始された。

福山総合支所管内のまきのはら地区(牧之原高原地域と福山地区海沿い地域を結ぶ一連の区域)を有機的に憩える一体化した区域にするため、地域の特性を生かしつつ必要な施設の整備を図る。

事業に対する意見・要望事業に対する議会から出された(誰からの意見か明記)意見

福山地区住民より、観光客等の交流人 特になし。 口を増やせる施設の整備についての要 望がある。

 対象 (誰、何を対象にしているのか)
 意図 (対象をどうしたいのか)
 結果 (どんな結果に結びつけるのか)

 ア 市民
 すべての世代の健康増進が推進される
 ゆとりややすらぐ場が確保される

 1
 市内外者との交流の場が広がる

全体計画	平成20年度までの・実施状況	平成21年度	平成22年度
(H 18 ~ H 22)		実績	計画
○福山プール(25m×6コース) ○牧之原総合運動公園 ・園内道路整備工事 ・西側多目的広場 ・更衣室整備 ・緑地広場整備工事 ・トイレ整備 ・駐車場舗装工事 ・東側多目的広場整備工事 ・東側多目的広場整備工事	○福山プール(25m×6コース) ○牧之原総合運動公園 ・園内道路整備工事 延長140m 幅員7.0m ・西側多目的広場 造成工事、防球ネットほか ・更衣室整備 1棟 ・緑地広場整備工事 路盤工 ○市道舗装補修 延長100m 幅員4.6m	 ○牧之原総合運動公園 ・西側多目的広場整備工事芝舗装路盤工 2.7ha芝舗工 2.7ha・トイレ整備 1棟「H22へ繰越」繰越額84,138千円○牧之原総合運動公園・駐車場舗装工事 3,200㎡・緑地広場整備工事芝張工、東屋 	○市道舗装補修 延長700m 幅員4.5m ○牧之原総合運動公園 ・東側多目的広場整備工事 整備面積 1.1ha ・園内道路整備工事 延長220m 幅員7.0m
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
計画	計画	計画	計画

(2)事業費

全体計画									
((H 18 ~ H 22)								
	単独	補助	合計						
国		226,500	226,500						
県									
地 方 債		315,000							
辺 地 債									
過 疎 債									
合併特例債		315,000	315,000						
その他		·							
一般財源	23,327	24,800	48,127						
計	23,327	566,300	589,627						

			単位	位:千円
	H 21年度	H 22年度	前年度	比較
_	決算 (A)	計画 (B)	(B)-((A)
当初予算額	131,320	64,046	▲ 67,274	51% 減
補正予算額	23,512			
予 算 合 計	154,832	64,046	▲ 90,786	59% 減
国庫補助金	75,000	6,700	▲ 68,300	91% 減
県 支 出 金				
地 方 債	71,800	38,700	▲ 33,100	46% 減
そ の 他				
一般財源	7,593	18,646	11,053	146% 増
支出合計	154,393	64,046	▲ 90,347	59% 減

単位:千円

事務事業 764	212 事務 事業名 (仮称)まきのはら総合選	重動公園整備事業	担当部建設部担当課都市整備課
2 評価の部 < 8	SEE >	評価	評価理由
A 目的妥当性	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	運動公園を整備することにより施設利用者の健康 増進が推進されるとともに、各種大会等の開催によ り市内外者との交流が広がりゆとりや安らぐ場が確 保される。
評価	公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	運動公園は市民の憩いの場・交流の場として計画されたものであり、多額の投資を要し受益する市民の範囲も不特定多数に及ぶため、市が整備することは妥当である。
	■ 目標達成度・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	■ 順調に進捗している □ 遅れている	主要施設の整備が概ね平成21年度に完了することから順調に進捗している。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	主要施設の整備が概ね平成21年度に完了していること、また、この事業と併せて、道路の舗装整備も進めていることから、多額の費用が無駄になる。
C 补软件等(需	事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業開始当初から、公園整備で発生する土砂を、 他工区に流用し有効利用することにより、コスト縮 減を図っている。
C 効率性評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業執行において、効率的な事務分担を行うととも に民間業者への業務委託を図っていく。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	全市民が利用できる運動公園の整備であるため公平である。
(1)1次評金	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2)全体総括(振り返り、反行	省点)

		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
	(1)1次評(価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
総	A 目的妥当	性 📕 適切 🗌 見直す必要がある	
	B 有効性		 全市民が利用できる運動公園の整備については、目的妥当性・公平性ともに適切で
括	C 効率性	■ 適切 □ 見直す必要がある	あり、有効性・効率性についても、順調な進捗や経費削減が図られた。
	D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある	

3 今後の方向性	E <plan></plan>				
(1)評価結果に	もとづく今後の	方向性	(2)具体的な改善計画	(又は廃止・休止すべきとした場合の理由)	
□ 廃止	[目的妥当]	生①②、有効性④の結果]			
□ 休止	[目的妥当]	生①②、有効性④の結果]			
□ 有効性改善		[有効性③④の結果]			
□ 効率性改善	(コスト削減)	[効率⑤⑥の結果]			
□ 公平性改善		[公平性⑦の結果]			
■ 現状維持·維	継続 ⇒(2)具体	的な改善計画は不要			

									~					1107.4				1,5.2
事務事		764	210	事 務 事業名		まち交街路	路整備事	業(国分	中央)				担担	当 当		建設制都市	部 i整備課	
政策	名	1	快	適で魅力	」 ある	るまちづく	IJ						グ	ル・		都市	整備グ	ループ
施策	名	2 交通体系の充実							電	話者	昏号	45-5	5111					
基本事	業名	1	道	路ネット	ワー	クの構築							内	線音	昏号	2881		
	会計	— ў	般会計	+					事業	平成	19	年度	~	平成	2	2 年	度	
予	款	8	土	木費					期間	¬-13%	13	十反		X		7 7	- <i>I</i> 又	
算 科	項	5	都	市計画費	ŧ				ᄪᄴᆠᄼ	都市計画	去							
目	目	3	街	路事業費	ŧ				根拠法令 ・ 道路法 条例等 土地収用法									
	コード	764	1210						N/1/1/2	都市再生		置法						
関連語	計画																	

1.現状把握 (1)事務事業の目的 < Do >

事業に対する意見・要望 事業開始の理由及び事業の概要

市で作成した都市再生整備計画に基づき、中心市街地にある平 和通線、向花清水線及び川跡線は、骨格道路として整備事業を開 始している。

都市計画道路等の早期整備により、安全な道路施設整備、中心 市街地の活性化や歩行者の回遊性の向上を図るもので、歩道の設 置、道路の拡幅、道路の舗装を行うものである。

①補償物件の調査、②用地取得、③工事の施工

事業に対する議会から出された 意見 (誰からの意見か明記) 都市計画決定より長期の年数が経過し

ているため、早期の事業完成を地元住 民から要望されている。 特に道路が狭く、歩行者の通行や車の離合がしにくいことや都市計画法第53 条の規定により建築制限が行われてい ることもあり地権者からは早期の着手が 要望されている。

意図 対象 (誰、何を対象にしているのか) (対象をどうしたいのか) 結 果 (どんな結果に結びつけるのか) 道路利用者(車両及び歩行者) 安全かつスムーズに通行できる。 安全・快適に移動ができる 地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家 安全・快適に移動ができる 人など利害関係人 用地として必要な土地を提供してもらう。

全体計画 (H 19 ~ H 23)	平成20年度までの・実施状況	平成21年度 実績	平成22年度 計画
道路改良工事 690m	測量等業務委託 4件 道路改良工事 0m(前払い金) 用地買収 7件 371㎡ 建物等補償 5件 ※ただし、道路改良工事 201m(工 事費48,193千円)、用地買収 5件 (土地代29,531千円)、建物等補償 11件(補償費54,001千円)について はH21に繰越	28,547千円)についてはH22に繰越	道路改良工事 236m 用地買収 12件 599㎡ 建物等補償 11件
平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度以降 計画
道路改良工事 139m			
※事業費については未定。			

(2)事業費 単位:千円

全体計画							
(H 19 ~	H 23)					
	単独	補助	合計				
国		233,360	233,360				
県							
地 方 債		368,220					
辺 地 債							
過 疎 債							
合併特例債		368,220	368,220				
その他							
一般財源	69,298	19,683	88,981				
計	69,298	621,263	690,561				

			単位	<u> 立:千円</u>
	H 21年度	H 22年度	前年度	比較
_	決算 (A)	計画 (B)	(B)-(A)
当初予算額	167,605	228,193	60,588	36% 増
補正予算額				
予 算 合 計	167,605	228,193	60,588	36% 増
国庫補助金	160,765	26,600	▲ 134,165	83% 減
県 支 出 金				
地 方 債	141,630	161,200	19,570	14% 増
その他				
一般財源	21,352	40,393	19,041	89% 増
支出合計	323,747	228,193	▲ 95,554	30% 減
	<u> </u>	<u> </u>		

事務事業 764	4210 事 務 まち交街路整備事業(国 事業名 まち交街路整備事業(国	分中央)	担当部建設部担当課都市整備課
2 評価の部 <		評価	評価理由
	政策体系との整合性	*****	1
A 目的妥当性 評価	・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている□ 見直す必要がある	道路改良工事により道路利用者が、安全・快適に移動ができるようになるため結びつく。
	公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である	市道整備は、市の義務であり、通行車両、歩行者 の安全を確保する観点からも妥当である。
	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	■ 順調に進捗している □ 遅れている	土地買収、工事とも順調である。
B 有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事費を積算している。買 収単価は土地鑑定を行って適切な価格での買収 をお願いしている。
C 効率性評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事発注をしている。用地 交渉は地権者に平日時間内にお願いし、地権者 の都合により必要最小限で時間外交渉を行ってい る。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	不特定多数の人が、道路を利用するので公平公 正である。
(1)1次評	価者(課長)としての評価結果 ((2)全体総括(振り返り、反:	省点)

3 今後の方向性<	PLAN >		
(1)評価結果にも	とづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画	(又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性④の結果]		
□ 休止	[目的妥当性①②、有効性④の結果]		
□ 有効性改善	[有効性③④の結果]		
□ 効率性改善(□	スト削減 [効率⑤⑥の結果]		
□ 公平性改善	[公平性⑦の結果]		
■ 現状維持·継続	読 ⇒(2)具体的な改善計画は不要		

土地買収、工事とも順調に事業を進められている。

A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある

■ 適切 □ 見直す必要がある

■ 適切 □ 見直す必要がある

■ 適切 □ 見直す必要がある

B 有効性

括

C 効率性

D 公平性